

10/10 女性を対象としたモニタリング
あいなんエコツアー

愛南町内の女性を対象とした、町の自然や歴史・文化など環境を生かした体験をしてもらう「あいなんエコツアー」のモニタリングが町内各所で実施されました。

第1回目の9月25日(土)は、グリーンパークすのかわで早朝ヨガが行われました。朝の清々しい空気の中、ヨガ講師の野田恵子さんの指導の下、参加者は1時間のヨガを楽しみながら、すっきりした心と体で一日をスタートさせていました。

第2回目の10月10日(日)は、山出憩いの里温泉キャンプ場で電動アシスト自転車E-BIKE体験が行われました。サイクリングチーム代表の渡邊和明さんからサポートを受けた参加者は、E-BIKEに乗ってペンション「みどりのおうち」まで散策しました。他にも川遊びやカホンというペルーの打楽器体験やオカリナ・ギターのコンサートを行い、青空の中自然と音楽を満喫していました。

第3回目の10月24日(日)は、篠山で山登りが行われました。ガイド役の環境省自然保護官から、篠山はアケボノツツジやミヤコザサなど自然植物の宝庫であること、その自然を守るためのさまざまな取り組みについて説明を受けていました。

参加者は、「愛南町にいながら非日常を味わうことができた」、「愛南町の魅力を深く知ることができた」などの感想を話していました。



▲芝生の上でヨガを行う参加者



▲E-BIKEを体験する参加者



▲篠山山頂での集合写真

10/11 安心安全なまちづくりの日
全国地域安全運動出発式

10月11日(月)から20日(水)までの間実施する全国地域安全運動の出発式が愛南警察署大会議室で行われました。

この運動は地域安全に関係する機関や団体、警察が連携し安心して暮らせる安全な地域社会を目指して開催しています。

出発式では、愛南地区防犯協会会長の清水雅文町長をはじめとした、管内防犯ボランティア7人と愛南署関係職員15人が集まりました。

参加者は式の後、管内青色回転灯パトロール隊(青パト隊)代表者の岡田正寿さんの出発宣言とともに、町内のパトロールやフジ南宇和店にて防犯啓発チラシの配布を行いました。



▲安心安全なまちづくりについて話す三好和敏署長

10/13 行政に関する出来事のお悩み相談
特設行政なんでも相談所



▲各地区の行政相談委員と総務省職員の方

総務省が定める行政相談週間に合わせて、特設行政なんでも相談所を城の辺学習館に開設しました。

また、毎月1回、第2水曜日に町内5カ所で行政なんでも相談所を開設し、相談対応を行っています。

行政に関する困り事や要望のある方は、行政相談委員が親身になって相談に応じます。相談は無料で秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

行政相談委員を務める黒澤民彦^{たみひこ}さんは、「行政のことで何か気になることがあれば、ぜひお越しください」と話しました。

10/14 防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業
決定書授与式



▲清水雅文町長に支援金決定通知書を渡す朝日田智昭^{ともあき}常務理事(左)

役場本庁大会議室で「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」の決定書授与式が開催されました。

この事業は、日本財団の助成事業としてB&G財団(公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団)が今年度から推進しているもので、災害発生時の緊急対応・避難所運営に必要な防災倉庫の整備、油圧ショベルやダンプ、救助艇などの機材の配備、災害時に活躍できる人材の育成費用などを支援するものです。

授与式では、B&G財団の朝日田智昭^{ともあき}常務理事から清水雅文^{まさふみ}町長に支援金決定通知書が手渡されました。

10/16 10月16日のシルバーの日に合わせて
清掃活動を実施



▲建物周辺を清掃するシルバー会員の皆さん

御荘老人福祉センターで愛南町シルバー人材センターの会員ら38人が10月16日のシルバーの日に合わせて、センター周辺の清掃活動を行いました。

シルバー人材センターでは、毎年10月をシルバー人材センター事業普及啓発促進月間と定め、その第3土曜日を「シルバーの日」として、全国のセンターが社会奉仕活動をする日としています。

弘瀬八重美^{やえみ}理事長は、「この日に、各地のシルバー人材センターでさまざまな活動をしています。私たちも清掃活動を行い、周囲にアピールしていきたい」と話しました。



愛媛
CATV
動画

10/28 長年の道路美化活動に対する 感謝状の伝達式

御荘文化センターで「長年の道路美化活動に対する感謝状の伝達式」が行われ、町内ではレインボー本松花部会・株式会社リョッカ・特定非営利活動法人こころの3団体に感謝状が手渡されました。

これは、国土交通省の「道路ふれあい月間」中に行われた、道路愛護等（道路の美化・清掃等）の活動のなかで、功績が特に顕著な団体を国土交通大臣が表彰しているものです。

感謝状と記念品を受け取ったレインボー本松花部会代表の井上明美^{あけみ}さんは、「これからもきれいに花が咲くように努めていきたい」と話しました。



▲国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の秋山慎吾所長から感謝状を受ける井上明美さん(左)

【団体】・(国土交通大臣表彰)レインボー本松花部会・(日本道路協会会長表彰)特定非営利活動法人こころ
・(ふれあい協議会長表彰)株式会社リョッカ

地域おこし協力隊 活動日記

「緑小学校 稲刈り体験授業に参加させていただきました」

皆さん、こんにちは。農業支援センター地域おこし協力隊の名田太郎^{なだたろう}です。

先日、緑小学校で行われた、稲刈り体験学習に参加させていただきました。残暑がきつい中、田んぼに踏み入ると、照りつける太陽の日差しから栄養を吸い取った黄金色の稲がとてもいい香りで、児童たちは額に汗をにじませ手作業で一束一束丁寧に刈り取りました。

始めは慣れない鎌の扱い方に悪戦苦闘し、なかなか思うように刈ることができなかつた児童たちでしたが、教わりながらコツをつかむと「慣れると簡単」などと互いに伝え合い、楽しそうに作業を進め一気に刈り終えることができました。

実体験を通して、お米一粒一粒の大切さや無駄にしないことへの「気づき」、農家の人々との関わりを持ったことで「楽しい作業」が食物に対する理解を深め、これから大人になっても忘れられない思い出とともに、お米を食べる喜びや感謝に繋がるのだと思いました。

収穫作業の終盤、笑顔に包まれていた児童たちの表情が非常に印象に残っています。その笑顔を見て、貴重な子供たちに「残すことができるもの」「また残さなければならぬもの」「何を伝承させることができるか」第一次産業からは貴重な「育み」を生み出すことができるのだと改めて考えさせられました。



▲稲刈りの体験学習をする児童たち